

## 多読事始め

講師：小林めぐみ先生（成蹊大学 経営学部教授）  
草薙 優加先生（鶴見大学 文学部教授）  
深谷 素子先生（鶴見大学 文学部准教授）

本年度の言語研究センター主催定例講演会は、2022年1月19日の15時20分より本学4時限の時間帯にZoomを用いたオンライン会議形式で開催されました。講師には、成蹊大学と鶴見大学より語学教育において多読書の利用による教授法を実践されている先生方をお招き致しました。3人の講師の先生方は多読に基づく教授法について共同プロジェクトを行うなど、国内外を通じて大変精力的に活躍されています。今回の講演会は、協同研究等を通じて以前から講師の先生方とお知り合いである、経営学部の河内智子先生のご紹介がきっかけとなり実現いたしました。

講演は、講師の先生方が、テンポ良く代わる代わる「多読」について興味深い情報を提供し、最後に質疑応答を行うという流れで進められました。多読（extensive reading）とは、外国語の学習者が、辞書や参考書を用いながらではなく、自分のレベルに合った簡単な読み物を大量に読む学習方法であること、文章を一文ずつ正確に、文法事項を理解しながら訳読したり精読したりするのとは異なり、自分で面白そうと思う読み物を選び楽しく読んでいくことにより、少しずつ早くより多く読めるようになり、より理解がふかまり、より楽しくなるのでもっと読みたいくなるという、自立学習のサイクルが生まれることが期待できる学習方法であることが説明されました。

実際の多読に用いられる学習教材の例も紹介さ

れ、学習者のレベルに応じた、初歩的なものから、母語話者用の書物と同等の高度な教材まで、きれいな挿絵や図表が多く含まれ視覚的にも魅力的で手に取ってみたいくなるような多様な教材が紹介されました。学習者は、読んだ本の内容について後に試験があるというような精神的な負担を感じることなく、純粹に楽しみを追求して読むことが基本であり、外国語による自立的な読書習慣を身につけられることが、一番の利点です。

多読を語学の授業に取り入れる効果的な方法についての紹介もありました。自己の進歩を具体的に把握し目標設定や振り返りが可能となるように読書記録を付けること、読書記録の個別指導における有効活用、同じ本の内容について語りあったり、各自の読んだ本を他の学習者に紹介したりするためのクラスコミュニティの活用など、学習者の挫折を防ぎながら読書習慣を育成する工夫が多く紹介されました。実際に授業で本の紹介を行った学習者が、自分の読んだ本の面白さを伝えるために様々な工夫をこらしたこと、他の学習者の準備した見やすいスライドや説得力のある説明に刺激を受け、また他の学習者たちに本の紹介をするという行為自体を非常に新鮮に感じて積極的に取り組んだことなど、多読を通じた活動が授業を活性化した実例もご報告頂きました。更に、読後の創造的なアクティビティーとして、品詞や語数を規定したフォーマットで本の内容をまとめた

5行詩を作り自分でデザインしたカードに書き込む、ユニークなアクティビティーも紹介されました。

講師の方々が強調された重要な点の一つは、「多読」の有効性を紹介して促進することは、決して「訳読」、「精読」や他の教授法、学習方法を否定したり、それらより効果的なものであると主張したりすることではなく、あくまでも相互補完的な方法として、または新たに授業活動等に取り入れるものとして紹介するということでした。いかなる教授法を用いるにせよ、限られた授業時間内で行いうる語学教育の限界を意識すれば、学習者が自立学習の習慣を身につけることこそが重要なわけですが、自分の興味で外国語の本を手に取り、純粋に楽しみのためだけに読んでみるという体験

は、どの学習者にも一度は味わう機会を提供する価値が十分あると感じながら、講演を拝聴いたしました。

多忙な年度末であり、本学における補講日を利用した開催ということもあり、講師の先生方は勿論ですが、言語研究センター所員の方々、事務局の方々に多大なご協力を頂きましたことに、お礼申し上げます。語学教育に関わる先生方を中心に多くの方々にご出席頂き、また数は少なかつたようですが学生の参加者からも、「多読」の実践方法に関する質問が出るなど、とても有意義な講演会となりましたことに、心より感謝致します。

(文責 大橋哲)



神奈川大学言語研究センター主催  
2021年度 講演会

## 「多読事始め」

講師：小林 めぐみ 先生  
(成蹊大学 経営学部教授)  
草薙 優加 先生  
(鶴見大学 文学部教授)  
深谷 素子 先生  
(鶴見大学 文学部准教授)

日 時：2022年1月19日(水) 15:20~17:00

開催方法：ZOOM開催

お申込み：参加希望者は1月17日(月)までに氏名と所属を明記し、

下記連絡先までメールをお送りください。

追って参加ZOOM IDとパスワードをお知らせいたします。

連絡先：言語研究センター

(gengo-koenkai@kanagawa-u.ac.jp)